

KTK いつみ福祉会を 守る会だより

2017. 夏 NO.50

☆児童デイサービス
夏休みプログラム
☆

プール♪



法人制度で変わることも、変わらないこと

社会福祉法人 いつみ福祉会 理事長 坂本利正

厳しい残暑が続いておりますが、皆様にはご清祥のことと存じます。日頃からいつみ福祉会に格別のご理解とご協力をお寄せいただき、誠に有難うございます。

さてこのたび、社会福祉法人制度の改正が行われ本年4月から施行されています。社会福祉法人が福祉サービスの担い手としてこれまで以上に地域社会に貢献できるよう、組織の公益性と運営の透明性を高め、併せて経営ガバナンスを強化することが求められています。具体的には、ご利用者が安心して支援が受けられるよう安定した運営を確保するとともに、財務基盤の充実を図り福祉サービスの拡充に努めなければならないということです。

また、法人組織については、「理事会」を執行機関、評議員会を議決機関として位置付け、新たに設置した「評議員選任・解任委員会」により地域福

祉に識見ある評議員が選任されました。理事、評議員そして監事は、法人の適正な運営に関してそれぞれ大きな責務を負い、その機能を果たすことが期待されています。

いつみ福祉会はこれまでから皆様方の温かい応援をいただき、障害のある人たちが「生きることの素晴らしさ、生き抜くことの大切さ」を感じながら「地域社会で普通の暮らしができるように」との理念の下にサポートを続けておりますが、このたびの制度改正で運営の方向性が支持されたものと感じております。そのうえで、経営基盤のさらなる強化に努め、ご利用者お一人おひとりの課題にしっかりと向き合い、いっそう質の高い支援態勢を目指してまいります。

皆様には今後とものご支援とご鞭撻を、何卒よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人制度改革のなかで

… … どのように変わったの??

社会福祉法等の大幅な改正が行われ、そのなかでいづみ福祉会もいろいろな対応が迫られたことはみなさまご存知のところでは。ここでは、そのあたりをトピック的に報告いたします。

○経営組織のガバナンス強化としての評議員会を設置

従来ありました理事会の諮問機関（ご意見をお伺いする組織）としての評議員会から、法人の最高議決機関（役員の選任権、事業報告・決算の承認決定権、などを有する組織）としての評議員会が発足しました。

メンバーは次の方々です。

(50音順、敬称略)

名 前	住 所	経 歴
杉山 欽明	木津川市木津町	元小中学校教員・校長、保護司
橋本 順夫	相楽郡笠置町	笠置町社協会長、府社協理事
林 良美	相楽郡笠置町	元いづみ家族会会長
松田 幸雄	木津川市加茂町	元市社協副会長（加茂支所会長）
安場 昭和	相楽郡南山城村	南山城村社協会長
吉岡 菊子	木津川加茂町	元小学校教員、更生保護女性会員
吉田 輝雄	相楽郡和束町	和束町社協会長、三福福祉会理事長

なお、この評議員の選任には、特別に設置されました『評議員選任・解任委員会』（小林慶昭委員長；前笠置町民児協会長以下4名）が当たられました。

○新しく選任された役員

顔ぶれは大きく変わりませんが、大きな責任を担っていただく皆さんです。

役職・名前	住 所	内 部 分 掌
理事 坂本 利正	木津川市加茂町	理事長
理事 青山 信一	木津川市加茂町	常務理事
理事 岩口 佳子	木津川市加茂町	理事長代理
理事 須河 浩一	木津川市加茂町	法人事業部長
理事 徳山 淳一	木津川市相楽	啓発・交通安全
理事 林 知子	木津川市加茂町	守る会・地域貢献
監事 乗光 秀明	大津市富士見台	本部監査、業務監査
監事 山岸 裕	奈良市法蓮町	財務監査、経理監査

○社会福祉充実残額はマイナス 195,130,000 円（マイナス約 2 億円）

いづみ福祉会では、平成 28 年度決算において『福祉充実残額』を計算したところ約マイナス 2 億円でした。これは、バッシングのあった内部留保（余剰金）と言われるものがいづみではまったくないということを表していますが、一方では施設の建替え費用なども確保されていないという意味でもあります。熟年の域に早く到達することも求められているようです。

(常務理事 青山)



リレーエッセイ

地域での“居場所”作り

～いつみ設立30周年に向けて～

いつみ福祉会が「いつみ共同作業所」として産声を上げて来年でちょうど30年。本号のこのコーナーから、いつみの歴史を4つのステージに分け、それぞれを過ごしたスタッフに当時の思いを中心に語ってもらいます。今回は第1ステージ（設立前～現光寺）です。

1988年4月、4年勤めた知的障害者施設を退職し私は、学生時代からお世話になっていた相楽共同作業所にボランティアに行くことに決めました。相楽共同作業所は、1981年に開所した陶芸作業を中心に行っている相楽郡に初めてできた障害者の施設です。当時の所長の廣瀬明彦さんが、「福祉資源のない場所に」と選んでできた施設だと聞きました。そこで、須河さん（現いつみ福祉会事業部長）が共同作業所づくりを始めていることを知り、私もスタッフの一員として関わらせていただくことになりました。

相楽共同作業所は、郡西部を対象にしておられたため、東部四町村の障害のある方には、養護学校（今の支援学校）卒業後に就労できなかった人は自宅で過ごす以外ありませんでした。「養護学校卒業後の進路を考えよう」と東部に住まわれている保護者が集まって作られた『相楽東部共同作業所を作る会』が、いつみの原点です。

作る会のお子さんが養護学校を卒業されて作業所を利用されるまではまだ数年あったため、まず在宅の障害のある方のご自宅を須河さんが一軒一軒訪問されたそうです。そうやって集まったのが、6名のご利用者。スタッフ2名と合計8名の所帯ができました。月に1回から始まった青年学級。どんどんと回数が増え、週3日はみんなで集まるようになってきました。

ある日、ご利用者の一人が自宅からいなくなってしまうようになりました。青年学級で何度か行ったことのある相楽共同作業所に、自主的に通所を始めてしまったのです。週3回は集まる機会を作ってはいましたが、それだけでは足りなかったようです。食パンを焼いてお弁当にして持っていかれたそうで、そこはちょっと泣ける話…。

そして見つけた現光寺！築160年の庫裏をお借りすることができ、1988年9月26日めでたく『いつみ共同作業所』が誕生しました。物はなかったけれど、心は豊かだったあの頃。



☆ 1990年撮影 ☆

ワンボックスカー1台でどこにでも行けました。ボランティアさんもたくさん来てくださって、楽しみだったのはIさんの手作りドーナツ。ボランティアさんのところにホームステイに来られていた人との交流もいい思い出になりました。しかし、段差だらけの現光寺では、車椅子の人は利用できません。そして1990年、多くの地域の方々の協力を得て、里の地に移転することになったのです。

（サービスセンター施設長・三船美香）

1988	設立前	第1ステージ
	現光寺 作業所	
	里 作業所	
	2001	
	いつみ☆ みらいプロ ジェクト 始動！	

ちなみに：



一九八八年
青函トンネル・瀬戸大橋完
成、リクルート事件
一九九〇年
バブル崩壊、「踊るポンポコ
リン」大ヒット



間違った財務報告を作らないための

仕組みとしての内部統制

いづみ福祉会 監事 山岸 裕

はじめまして。このたびいづみ福祉会の監事に就任致しました山岸と申します。私は公認会計士として、主に企業の会計監査の仕事を長年してきました。

企業等の法人は、一年間に非常に多くの取引を行い、簿記という会計ツールを使って取引を記録し、その記録を分類・集計して財務報告を作りあげます。会計監査では、その財務報告が正しく作成されているかを、会計のルールに照らしてチェックし、財務報告が正しいというお墨付きを与えています。しかし、会計監査は限られた時間の中で、財務報告が正しいのか、そうでないのかの結論を出さないといけないという仕事の性格上、法人が行った1つ1つの記録が全部正しいかを確認するわけにはいきません。それは時間的・経済的に無理なのです。そこで、私たち公認会計士は、もともと企業が組織の内部に備えている財務報告を間違えて作成しないための仕組みに着目します。この仕組みを内部統制と呼んでいます。

会計監査では、企業が行った会計記録の正しさを確認する前に、まず、この内部統制がしっかりと組織内部に作り上げられているかを確認するのです。そして、内部統制の強度に応じて、会計監査を実施する強さを決めているのです。そして、内部統制が十分でなければ、それを改善し強化する指導も行います。

内部統制をしっかりと構築しないといけないということは企業に限った話ではなく、正しい財務報告を世の中に報告しないといけないすべての法人（報告主体）について言えることです。つまり、いづみ福祉会もその例外ではないのです。したがって、いづみ福祉会でも、財務報告を間違えて作成することがないように、内部統制を整備し運用する必要があります。

しかし、社会福祉法人全般について言えば、まだまだしっかりとした内部統制を構築できている法人は少ないのが現状だと言えるでしょう。なぜなら、内部統制とは、会計の記録をしたら終わり、財務報告書を作ったら終わりではなく、作り間違いがないか、作った本人、またはその上司などがしっかりと確認作業をするということなのですが、それには時間と人手とお金がかかるために、そこまではできていないことが多いようです。

監事に就任して4か月。まだ、いづみ福祉会の内部統制の状況を把握できておりませんが、内部統制の仕組み作りの指導を主に専門にしてきた自分の経験を活かして、財務報告の間違いを探すだけでなく、間違った財務報告を作らない法人内の仕組みとしての内部統制の構築・強化に貢献できればと考えています。

平成 28 (2016) 年度 いづみ福祉会 事業報告・決算報告

事業報告の概括

- 1 機能分化と強化のための施設建設および改修工事が一段落し、それぞれの事業所において、計画に沿って着実に事業を展開することができました。
しかし、グループホームおよび児童の事業所において、人事異動に伴って、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者が 11 月まで配置できない事態が生じ、支援費の減算対象とされ収入が予算を大きく下回る結果となりました。
- 2 サービスの質の向上に向けて、人権擁護の全職員研修会（前期、後期）、新採用者研修・リーダー職研修・管理職研修等を開催しました。それぞれの事業所においても実務研修を行うなど職員研修に積極的に取り組みました。サービスセンターにおいて第三者評価を受診し、業務や質の振り返りを行うとともに、広報活動の推進など新たな課題も見出しました。職員の採用は、なお困難な状況にありますが、ほぼ求人を満たすことができました。
5つの事業所に防犯カメラ等を設置し、外部からの不審者の侵入に備えました。
- 3 今後は、さらなる向上のために、人材の確保・育成をいっそう推進すること、リスク管理を徹底すること、事業展開を裏付ける財務基盤の強化を図ること、に留意いたします。

決算報告（資金収支計算書による）

表 1

単位；円

事業活動による収入	381,493,388
事業活動による支出	349,864,322
事業活動収支差額	31,629,066

(注) いわゆる福祉事業（本業）の収支

表 2

単位；円

その他活動による収入	4,120,894
その他活動による支出	45,427,552
その他活動収支差額	-41,306,658

(注) 建物の改修、車両購入、借入金の返済、長期積立などの収支

表 3

単位；円

就労支援事業による収入	17,197,699
就労支援事業による支出	16,276,320
就労支援事業収支差額	921,379

(注) いわゆるご利用者作業による製品製造・販売などの収支

上記概括で述べましたように、支援費の減収が大きく、人件費の伸びを考慮すると厳しい収支結果となりました（表 1）。また、本館非常階段の改修、車両の購入、2400 万円の積立を行いました（表 2）。就労支援事業では、奈良薬師寺様の大量注文などにより、ご利用者に特別賞与を払ってなお 100 万円近い黒字となりました（表 3）。

常務理事 青山信一



児童デイサービスでのおはなし会

おはなしポケット 杉本秀子

児童デイサービスで、読み聞かせや紙芝居をさせていただくようになり、十年くらいになります。最初は、手探りで本や紙芝居を選んでいましたが、反応は様々でした。しかし、回を重ねると、子どもたちのキラキラした表情や人懐っこい仕草にこちらが元気をもらっているように思えてきました。

ある時、児童デイサービスの職員方とおはなし会の内容について話し合いを持ちました。職員方は、子どもたちも参加できるようなものや、色や絵がはっきりときれいなものがよいということでした。そういえば、児童デイサービスにある作品は、どれもすばらしく、いつも感心するばかりでした。そんな未知数の才能を秘めた子どもたちに対してなんとなく選んでいてはいけないと思い始めました。それからは、手遊びやリコーダー等も取り入れるようにしました。

最近では、持っていた本を「僕が読みたい！」という子が出てきて、その積極性に大歓迎。また、おはなし会で着用しているエプロンの紐を結んでくれる子。クイズに大きな声で答えてくれる子。これからも一緒におはなしを楽しんでいけたらと思っています。

施設見学のご報告

いづみ家族会会長 國本素子

8月2日、滋賀県甲南町にある「やまなみ工房」を見学しました。

「やまなみ工房」は、1986年、障害者3名、家賃1万円の借家から始まり、地域社会や行政から認められ、現在では、生活介護・就労継続B型の多機能型施設として、118名のご利用者が通われています。さまざまな表現活動を通し、穏やかに心豊かに成長すること、その人がその人らしく健康で、生き生きと過ごせることを目指されています。

広い駐車場をU字に囲むように平屋の建物が並び、芝生が広がり、ベンチや机が幾つも置かれ、明るい自由な雰囲気を感じました。絵画や粘土細工の棟では、静かに机に向かう人、床に広げた用紙に10Bの鉛筆で描く人、音楽を聴きながら描く人、ゆったりしていて静かです。作品は、東京や外国でも展示販売され、数十万円の値段が付くこともあり、その収入は製作者に入るそうです。ご利用者は、月に1回通所される方、15分だけ創作活動をされる方、食事の時間も事務所への出入りも自由なようでした。

見学をしてみて、皆さんの感想は、映像で見ていた絵を実際に見ることができ感動したという話や、息子さんの同級生が通われており、覚えてくれていたのが嬉しかったなど色々な感想が出て、役員冥利に尽きる一日でした。なんと、その同級生の子の描いた絵は、Tシャツにプリントされ、芸人（ドリカムの吉田美和さん！嵐の松本潤さん！小栗旬さん！）も着ているのだそうです。

サービスセンター

障害者移動支援従業者養成研修
(ガイドヘルパー養成研修)を行ないました！

毎年1回開催のガイドヘルパー養成研修(座学2日、演習1日)、今年も20歳～68歳までの男女、30名の参加がありました。

2日間の座学での講師は6名。内容はまじめですが、皆さん面白おかしくお話をして下さいます。中には簡単な実習もあり、軍手を

して、その手で紙を切り、袋詰めをして…と、参加者の皆さんは、「何をするの??」と思いながらも、真剣に取り組んでおられました。

無事に座学を終えられた参加者は今、土曜活動や、実際のガイドヘルプに同行する演習に順番に参加されています。

さてさて、今回の参加者の中からいづみでガイドヘルパーとして、皆さんの前に登場するのは、お楽しみにです!! (取材)



児童デイサービス

昔遊びを教えて下さる方、ぜひ子どもたちと遊びに来てくださいます！今年も宇宙少年団の方と水ロケット発射体験・ポン菓子・たかっちゃんの紙芝居・おはなしポケット・セラピードッグなど、たくさんの方々のご協力で楽しい体験をしています！

ぜひ、遊びにいらしてください♪
(林)

子ども用自転車が
あいましたら
お譲り下さい♥

相談支援センター

9月から、全8回シリーズのペアレントトレーニング「子育て支援講座～楽しい親子関係作りのプログラム～」を開催します。

この講座は、より良い支援のために、親御さんたちに子育てのヒントを持ち帰っていただくだけでなく、参加者同士で交流ができるよう、講義後に毎回茶話会やミニゲームを行っています。(石崎)

【お問合せ】

相談支援センターいづみ
TEL: 0774-66-3521

グループホームサポートセンター

村田体操教室

グループホームのご利用者の高齢化や運動不足による筋力低下を予防するために、週に一回体操教室を行っています。体操教室ではストレッチやチューブなどを使っての筋力トレーニングを行っています。初めは皆さんあまりやったことのない動きだったのでやりにくそうでしたが、慣れてくるとしっかりとできるようになりました。

これからも、楽しく体操教室に参加していただけたらと思っております。

村田哲平(世話人・鍼灸師)

ワーキングセンター

●恒例の草木染め販売会を開催します!!是非お越し下さい。お待ちしております❀

9月20日(水)～30日(土)

場所: 奈良町物語館

時間: 10時～17時

●茶処ラスクを委託販売していただいています!!

- ・SHOP木の津(アルプラザ木津内) ・ 京都山城総合医療センター売店(木津)
- ・クローバー牧場 ・ 小間安老舗(加茂) ・ 和東お茶カフェ(和東)
- ・らぼると(三山木) ・ お茶の京都 みなみやましろ村道の駅(南山城)





会費納入にご協力下さい！！



2017年度の会費納入をお願いします。同封の振込用紙をご利用ください。
 個人会費は一口 1,000 円、団体（法人）会費は一口 3,000 円です。
法人の窓口を持って来ていただくことも大歓迎です。

会費納入をいただいた方々です。（敬称略、順不同）
 （2017年3月8日～2017年7月10日受付分）

柴田 雅弘	深山 國男	村木 定子	橋本 順夫	大西燃料店
安場 昭和	坪井 友里	川添 倫男	脇田正利・わか	大久保寿行・靖美
吉田 純子	吉田 和文	木村 恵子	城 正敏	

ご寄付ありがとうございました

いづみ福祉会および守る会に多くの方々からご寄付をいただきました。ありがとうございます。
 （2017年2月26日～2017年7月20日受付分）
 お名前をご紹介します、お礼に代えさせていただきます。（順不同）

- ・村上康行様 ・小寺栄子様 ・上野元美様 ・岩城勝巳様 ・山田多賀子様 ・大森和歌子様
- ・来住弘之様 ・松原雅子様 ・山岸陽子様 ・林良美様 ・吉住彩菜様 ・馬場久代様
- ・姫野益雄様 ・北村幸美様 ・足立雅子様 ・石崎茂子様 ・濱野陽子様 ・田中道子様
- ・荒川智行様 ・おぶぶ茶苑様 ・澤吉祐美子様 ・柳原洋子様 ・魚島和子様 ・北尾清美様
- ・大西燃料店様 ・高山純子様 ・小林文代様 ・鈴木由利様 ・奥東百合様 ・近藤祐三様
- ・キャリアインターナショナル様 ・坂本武博様 ・森圭史郎様 ・粟谷和彦様 ・中田キヨ子様
- ・南加茂台公民館サークル様 ・上田雅幸様 ・稲田陽子様 ・渡邊圭子様

現金、洗濯機、冷蔵庫、掃除機、炊飯器、ポット、ラジカセ、電子レンジ、介護ベッド、車椅子、ポータブルトイレ、トイレトーパー、タオル、布巾かけ、洗剤、知育玩具、パズル、マンガ、本、お水取りたいまつ、雑巾、湯のみ、茶碗、ボールペン、お茶、しょうゆ、野菜（タケノコ、キュウリ、ブロッコリー、ジャガイモ、万願寺トウガラシ、ミニトマト、シイタケ、木の芽、白菜、玉ネギ、フキ、ニンニク、キャベツ、青ジソ、ナス、ズッキーニ、カボチャ）、果物（大玉柑橘）、砂糖、冷麦、菓子、アイスコーヒー、コーヒー、クレープ

ご寄付いただいたものは、有効に活用させていただいております。厚くお礼申し上げます。
 また、ご家庭に不要なタオル、掃除機、アイロン、ミキサーがありましたら、よろしくお願ひします。

編集 いづみ福祉会を守る会

連絡先 社会福祉法人 いづみ福祉会 内

〒619-1143
 京都府木津川市加茂町観音寺石部8番地
 TEL:0774-76-7210 FAX:0774-76-0070
 URL:http://www.idumi-fukushikai.or.jp

＜ 編集委員 ＞

ボランティア団体:西嶋 いづみ家族会:来住
 法人職員:大久保、青山、石崎、馬場英、濱、
 林、丸岡伸

1992年6月5日第三種郵便物認可(毎月1回25日発行)
 2017年8月26日発行 KTK増刊通巻第4624号

発行所 京都障害者団体定期刊行物協会 075-822-2691
 高谷 修 029-143 京都市上京区猪熊通丸太町下ル中ノ町519
 頒価1000円 会員の購読料は、会費に含まれていません。
 京都社会福祉会館4階 京都難病連内